

学校給食青果物地産地消関係者協議会が開催されました。

佐世保市学校給食会は、教育委員会（学校・学校給食センター）と連携して地産地消を推進していますが、青果物については会議を設置しており、今般その会議を開催しました。

開催日時 平成 29 年 6 月 15 日（木）

場所 佐世保市学校給食青果物納入事業協

構成 ながさき西海農業協、佐世保青果(株)

佐世保市学校給食納入事業協

市教育委員会(コーディネーター)、市農林水産部(アドバイザー)

主催者 学校給食会

議題 地産地消の推進について

本協議会の目的は青果物の地産地消の推進ですが、具体的な項目として、「献立に地場産品を取り入れること」と「佐世保青果市場にできるだけ多くの地場産品の入荷を図ること」を定めており、「情報共有」と「関係者の協力」を本協議会の目標としています。

今回も活発な意見交換が行われ、佐世保市学校給食納入事業協及び佐世保青果(株)から、平成 28 年度における地元産の供給量については、キャベツや大根などが生産量の減少や天候不良による価格高騰などによって影響をうけ前年度よりも少なくなったとの報告がありました。

カリフラワーについては、佐世保青果(株)から佐世保市学校給食納入事業協へ生産状況等についての情報を提供し、給食会や教育委員会につながるよう情報連携を行っていくことが確認されました。

また、ながさき西海農業協から、現在、玉葱振興を実施していることや大根を多く供給できる時期などについての説明があり、大きさについての質問や、献立に反映できる時期などについて意見交換が行われました。その他として、ながさき西海農業協から、デザート用のお茶やイチゴのお菓子についても紹介がありました。



会議の様子